令和4年度　福井県立武生商工高等学校　学校関係者評価書

（問）　・今年度の取組みについて、学校評価書の成果と課題が適切かどうか。
　　・成果と課題を踏まえた今後の改善策・向上策は適切かどうか。
　　・その他気づいた点はないか。

（意見を聞いた方）
PTA会長、PTA副会長（4名）

（意見欄）

1　教育課程・学習指導
・コロナの波がおさまることがなく、学級閉鎖等が相次ぎましたが、タブレットでの在宅学習が充実してきていてよかったです。
・行事予定を早め早めにHPにUPして頂くようになりましたが、遅れる時もあるようなので、できるだけ早くあげて欲しいです。
・DXと学校教育との融合が徐々に形になりつつあるが、考える力とコミュニケーション力の醸成も視野に入れた学習が必要。
・3年後に向けた工業キャンパスの施設設備の整備が急務
・月間行事予定の情報共有方法の再考が急務　学校→保護者　HPで統一、紙で配る、メールで案内など

2　生徒指導
・高校生として、礼儀正しく好印象を受けます。例えば”たくみそば”の練習会に伺った時、生徒さんと廊下ですれ違った際は明るくあいさつをしてくれました。
・たくみそば、商工デパートなど生徒が生み出す企画を充実して頂けると、生徒が自身の存在意識を感じると思います。
・校則について、生徒主体による改革が必要である。髪型など禁止の理由が明らかでないと、疑問が残るだけである。

3　進路指導
・インターンシップや企業説明会などを通じて、各自の進みたい道を見つけるチャンスが多く、良いと思います。
・キャリア教育の充実が必要な時代。模擬面接など外部と関わる機会を増やして頂けるとコミュニケーション力醸成に繋がると思います。
・生徒の希望進路や部活動に対して丁寧な指導を心がけて欲しい。

4　保健指導
・コロナ禍で休校が続くと生活リズムがくるって、昼夜逆転になることもしばしば有りました。スマホの使用時間も長く、視力低下が心配です。
・コロナ感染症が5類に移行するに伴い、生徒のケアもより繊細になると思いますが、適切な判断をお願いいたします。
・商業キャンパスは学校環境改善は難しいと思うので、ひざかけOKや手持ちの冷風機の使用の許可などに対応してもらいたい。
・コロナ過の制限が解除する中で、本来の活動に戻せるものは戻すとともに、新しいスタイルの活動を考える必要がある。

5　図書指導
・新聞などには他校生徒の活動などが掲載される時代。他校の活動などに触れれる機会が図書室にあると良い。

6　保護者との連携
・PTA活動の中で、両キャンパスの伝達がうまくいっていないことがありました。各委員会の行事を開催する前には委員会を開くべきと思います。
・参加率向上のため、PTAなどもオンライン化して欲しい。

7　その他（工業科）
・資格より人間性が重宝される時代。人間力向上をテーマに様々な活動ができると良い。

（全体）
・リノベーション後の学校公開を検討して欲しいです。
・新しい高校の在り方を議論していただきたい。
・商業から工業に出発しているバスの運行時間の見直しをして欲しい。2本出ている内1本は15分遅らせて出発する。（同じ時間に2本出すとホームルームの終わる時間の都合で乗れない時もある）
・午前で学校が終わる時、部活開始に遅れる時がある。部活スタートの時間は両キャンパスの時間割を考えて計画して欲しい。

学校関係者評価を踏まえた今後について
・時代はまさに変革。よりよい未来に向けて丁寧な議論を重ね、生徒・教員・保護者・関係者と共に素晴らしい学校を構築して欲しい。
・商業と工業両キャンパスの情報共有はもっと必要。